

巨大プロジェクト・新病院建設は大丈夫？ 住民投票で市民の審判を！

投票条例制定の賛同署名にご協力を！

● 住民投票条例を求める行動がスタート！

12月13日夜、明市民センター（上本郷）に150名余の市民が集まり、松戸市が策定した「新病院整備基本計画」の妥当性について住民投票で判断してもらおうという懇談会が開催されました。呼びかけは、市立病院がある上本郷地域の町会や商店会会長などが中心となって11月に発足した「新病院整備基本計画の賛否を問う住民投票を実現する会」です。住民投票を呼びかける市民運動は、松戸市では始めてのことです。行政と議会だけでなく、市民の判断が重要です。

● 新病院の建設計画に市民参加を！

川井市長は、一昨年11月末突如、新病院の用地を紙敷区画整理事業地内の東松戸駅近くに建設することを新病院建設の基本構想も基本計画もない中で提案し、12月定例会では激論の中「有力な候補地」として用地取得（約11,000m²、22億円）が承認されました。「まず用地ありき」という問題あるスタートでした。さらに、基本設計や実施計画も明らかにされない中で、来年度予算に本体工事等200億円ほどが計上されることです。2010年度建設工事着工、2012年度に新病院竣工・開院をめざしています。

トータルで250億円から260億円もの巨大プロジェクトにもかかわらず、市民への情報公開も不十分、市

民参加の施策はまったくありません。松戸市が考える新病院建設が妥当かどうか、市民には判断できませんでした。財政面（全国の市立病

院の中で一番の赤字病院）でも地理面（市内の中心ではなく、市の南端）でも、決定過程でも問題点だらけです。



● 1月15日から1ヶ月の署名活動にご協力を！

懇談会では、新病院整備計画は危機的な財政状況の中で、市の将来を大きく左右する重大問題であること。それだけに市民に移転・新築の必要性の是非を住民投票で問うことが情報公開と市民参加の面でも重要なとの確認がされたところです。具体的な活動としては、1月15日から1ヶ月間、住民投票が実施できる条例制定の請求に向けた署名活動が始まります。請求には、有権者の50分の1（約8千人）以上の署名が必要です。人数分の署名があれば、市長に条例制定の本請求を行い、議会に諮られます。議会で過半数の賛同が得られれば住民投票の実施となります。署名を取れる人（受任者）は、署名スタート前に署名収集委任状を運営から受けた受任者だけ

です。多くの方が、署名集めの受任者になっていただくことが、この署名活動を成功させる第一歩です。このニュースをご覧になって、関心をもたれた方、受任者になってもよい方は、一報ください（090-4606-9634、吉野）。

市民自治をめざす
1000人の会 NEWS

2010.1.12
号外 33

市民自治をめざす1000人の会 住所 〒271-0092 千葉県松戸市松戸1879-24 ほくとビル5F
Tel&Fax 047-360-6064 E-mail shinji-1000party@msj.biglobe.ne.jp
郵便振替口座 00130-0-76000 http://www5b.biglobe.ne.jp/~matsudo



佐藤みのるの政策提言

ストップ! 温暖化・千葉でもアクション! 12・12

松戸駅西口から COP 15 に向けてメッセージ発信

「世界同日アクション」は Global Campaign for Climate Action (GCCA) が実施するプロジェクトで、市民社会を動かして、地球を壊滅的な気候変動から救うために変化と迅速な行動を支援するように世論に訴えています。その呼びかけに日本でも「STOP 温暖化! 世界同日アクション」実行委員会が結成され、「原発に頼らない中期目標 30% 削減」をメインテーマに全国の 23 の地域で同日アクションが行われました。人文字等をつくり、つないだメッセージを Web でコペンハーゲンと日本政府に発信しました。

●原発に頼らないで中期目標 30% 削減を!

千葉では 9 月より 12/12 千葉でのアクション実行委員会を立ち上げ、「松戸駅周辺にぎやかし推進協議会」と共催して、賛同人や賛同団体への呼びかけ、県や市などに後援依頼を行いました。その結果、賛同人は 100 人を超え、15 の賛同団体が加わりました。後援は千葉県・松戸市・千葉県地球温暖化防止活動推進センター・松戸よみうり新聞社となりました。

千葉でもアクション! では音楽ライブ 5 グループと各賛同団体のアピールを組み合わせ午後 1 時から



12・12 ストップ地球温暖化世界同時アクション
千葉アクションで発言する佐藤みのるさん

4 時までの 3 時間、通行人が足をとめて参加し大いに盛り上りました。

開催当日は天候に恵まれました。千葉でもアクションは参加者からのメッセージをボードに貼り付けて T の部分を作りました。 YES TO - 30% ! NO TO NUKE S メッセージを寄せて頂いた方に、素敵な白くま缶バッジをプレゼントしました。のために用意した 340 個も終盤には底をついてしまいました。

●世界同日アクションに 182 ケ国、5200 ケ所で行動が!

STOP 温暖化! 世界同日アクション実行委員会声明 (12 月 21 日) によると

▼市民社会からは COP15 に向けて、過去に類を見ない規模のさまざまなキャンペーンが提起されました。12 月 12 日、デンマークでは公式発表 10 万人のデモがあった。また、「350.org」では 10 月 24 日の同日キャンペーンの世界 182 カ国・約 5200 箇所でのアピールや、会期中のビジル (キャンドルライトによる祈りの会)、3000 以上のイベントが紹介されている。

▼「公正で野心的、拘束力のある議定書を求める」 "I am Ready" オンライン署名には、世界各国から 1500 万人が参加、Seal the Deal 「コペンハーゲンで決めよう」 オンライン署名も行われた。

日本での Make The Rule キャンペーンの 12 月 12 日アクション、そして私たちが同時に展開した「STOP 温暖化・千葉でもアクション!」も、これらの活動の一環となれたことを誇りに思います。世界経済の利害関係に左右され続けた COP15 の結果に失望していますが、だからこそ地域に根ざした市民団体の連携（地球レベルで考え、地域から行動する）は重要なものです。

1000 人の会政策担当 佐藤みのる